

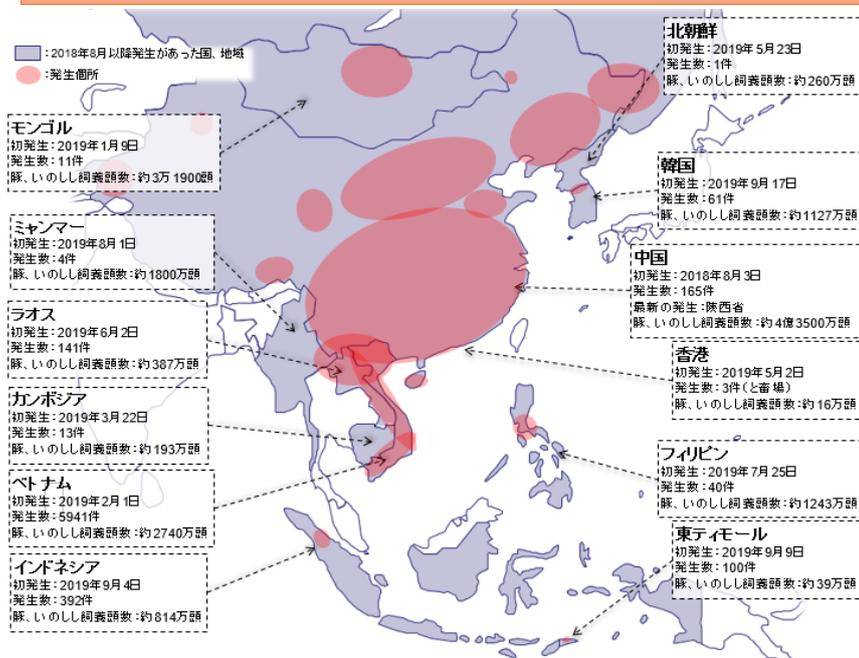
ASF（アフリカ豚コレラ）について

2019年12月

ASF（アフリカ豚コレラ）とは

- ・豚及びいのししに感染する致死率の高い伝染病。（人には感染しない）
- ・CSF（豚コレラ）とは別の病気。
- ・有効なワクチンや治療法が存在しない。
- ・ASFウイルスは豚肉中で長期間感染力を維持するため、豚肉等の違法な持込みは、家畜の豚や野生いのししが感染する原因となる。
- ・一度侵入すると養豚に甚大な被害を与える。（2007年以降根絶した国なし）

2018年8月に中国で初発生以降、アジア地域で急速に拡大



- 日本を訪れる外国人の約85%はアジア地域から
- 輸入禁止畜産物の摘発(2018) 約9万4千件 (動物検疫所)

輸入禁止畜産物 持込み者の属性



ASFが流行している地域の状況

- ・アジア地域には、世界で飼養される豚（9億7千万頭）の約6割（5億6千万頭）を飼養（うち4億4千万頭は中国で飼養）。<FAO, 2017>
- ・ASFは約8か月で中国全土に流行拡大。
- ・中国では、豚肉の価格が2018年7月と比べ約2.6倍に上昇。<中国中央人民政府>
- ・公表ベースでは、ベトナムの発生件数は約6,000件（約580万頭を処分）。<OIE>

2019年1月、中国便の旅客が持ち込んだソーセージから感染力のあるASFウイルスを検出

水際での肉製品の持込み摘発が極めて重要

※2020年の旧正月は1月25日